

第24回全日本少年少女空手道選手権大会山形県予選会
第32回全国中学生空手道選手権大会山形県予選会
審判・監督会議資料

1. 遵守事項

(1) 共通事項

- ①競技規定については実施要項のとおりとする。
- ②審判・監督会議は事前に本書面の配布のみにより実施する。当日は審判においては出欠確認のみ、監督は受付時に棄権する選手を報告すること。
- ③選手が不適切な服装、防具で入場した場合、2分（形は1分）ルールは適用しない。但し、監督については当該競技者の監督につくことができない（組手団体戦の場合は、その選手の試合のみ）。
- ④ゴミは各自お持ち帰りください。

(2) 審判員

- ①通常通り笛を使用する。
- ②競技中指定された席を必要以上に離れないこと。
- ③審判シューズは土足厳禁とする。

(3) 選手

- ①隣の選手及び前の選手と間隔を空けて整列すること。
- ②形名の呼称や気合い等を発声する際は、大声での過度な発声を禁止する。
- ③組手競技におけるマウスシールドの装着は任意とする。
- ④組手競技においてマウスシールドが外れた場合は、直ちに主審が「止め」をかけるので付け直すこと。
- ⑤試合前後はきちんと礼をし、ハグ、グータッチ、握手、出迎え、送り出しはしないこと。また、おたけびや派手なりアクションは禁止とする。
- ⑥トーナメント方式では負けた選手から随時退場する。

(4) 監督

- ①監督はあらかじめ届出があった者とし、役員及び審判と兼ねることはできない。
- ②異議申し立てについては実施要項に記載のとおりとする。
- ③監督席では大きな声での過度な発声を禁止する。
- ④監督は必要以上の指示をしない。もし2回主審に注意された場合は、その試合のみ退場となる。
- ⑤監督は空手着を着用しなくてもよいが、監督としてふさわしい服装とすること。また、県連指定の腕章を装着すること。
- ⑥監督は予選会が円滑に進行するよう、当該所属団体の一般入場者に取決め事項やマナー等を遵守するよう呼び掛け、協力いただくよう要請をすること。

2. 競技について（実施要項記載以外）

(1) 形競技

- ①小学生については、全ての回戦において2人制で行う。
- ②中学生個人種目について、得意形以外は全て2人制で行う。
- ③2人制では時間短縮のためコートコーナー部分からの斜め入りとする。

- ④礼について（監督が選手に促すことを可とする）
※コートの上入りは礼をしないこと（反則ではないが遅延につながるため、各コートで礼をしないように促す）。
- ⑤連続して試合を行う場合のインターバルは1分間とし、赤と青が入れ替わる場合は帯を交換してから1分間とする。

（2）組手競技

- ①10カウントルールは採用しない。
- ②【競技終了時に同点で先取のない場合】
1本での得点の多い方が勝ち → 技ありでの得点が多い方が勝ち
【さらに同点の場合】
個人戦・団体戦代表決定戦：副審4名の判定 → 2対2の同数時は主審が決する
団体戦：引き分け
- ③団体戦は全ての回戦において勝敗が決しても3名全員が競技する。
- ④連続して試合を行う場合のインターバルは1分30秒とし、赤と青が入れ替わる場合は防具等を交換してから1分30秒とする。但し、中学生団体組手代表決定戦においては適用しない。

（3）審判員実施事項

- ①組手競技において、マウスシールドが外れた場合は直ちに主審が「止め」をかけ、付け直させてから再開すること。
- ②審判員は同じ団体に所属する選手の審判はできない。但し、審判員に不足が生じた場合は、審判長又はコート主任の判断により審判団に編成することがある。

3. 質疑について

- （1）予選会当日は従来の審判会議、監督会議は実施しないため、上記の内容について質疑が生じた場合は、別紙「質疑申込書」に質疑内容を記載し、担当者へ期日までメールで送付すること。後日、質疑内容とその回答を通達する（ホームページ掲載）。
- （2）質疑申込書の提出について
【提出期限】 令和6年4月22日（月）
【提出先】 強化委員会 梁瀬伸祐 宛 メールアドレス s.yanack@poppy.ocn.ne.jp